

総務委員会資料

2 所管事務の調査（報告）

（3）令和5年度川崎市防災訓練の実施結果について

資料 令和5年度川崎市防災訓練の実施結果について

令和6年3月12日

危機管理本部

令和5年度 川崎市防災訓練の実施結果について

1 令和5年度川崎市防災訓練実施計画について

令和5年度の川崎市における防災訓練については、「令和5年度川崎市防災訓練実施計画」（以下、「実施計画」という。）等に、目的や実施項目等を定め、次の項目により各々実施することとしています。

- (1) 令和5年度川崎市総合防災訓練（第44回九都県市合同防災訓練川崎市会場）
- (2) 各区の総合防災訓練
- (3) その他の訓練

2 川崎市防災訓練の実施結果について

(1) 令和5年度川崎市総合防災訓練（第44回九都県市合同防災訓練川崎市会場）

- ア 実施日時** 令和5年9月3日（日） 9:00～12:00
- イ 訓練場所** ・市立南菅中学校 ・菅多目的広場
- ウ 訓練参加機関**
- | | |
|--------------------------|-------|
| ・南菅中学校避難所運営会議、市及び防災関係機関等 | 約480人 |
| ・一般参加者（見学者含む） | 約420人 |
| 合計 | 約900人 |
- エ 訓練目的** 首都直下型地震等の地震災害の発生に備え、自助・共助・公助の理念に基づき、市民、自主防災組織、企業、市及び関係行政機関等が迅速な初動活動と災害応急対策を確立するとともに、市民の防災意識の高揚及び地域防災力の強化を図ることを目的とします。



令和5年度 川崎市防災訓練の実施結果について

オ 訓練内容

(ア) 「大地震発生から数時間」を想定した訓練（菅多目的広場）

発災から数時間後の市街地において、市及び各防災関係機関が相互に連携して、情報収集や道路啓開、救出救護活動を実施しました。

【訓練】情報収集訓練、道路啓開訓練、緊急交通路確保訓練、救出救護訓練、応急救護所、一斉放水訓練



情報収集訓練



道路啓開訓練



緊急交通路確保訓練



応急救護所



救出救護訓練

(イ) 「大地震発生から3、4日」を想定した訓練（市立南菅中学校）

発災から3、4日経った避難所を想定し、避難所運営訓練や医療・福祉訓練を実施するとともに、緊急物資輸送訓練や燃料補給訓練等を実施しました。また、ライフライン事業者等による応急・復旧活動訓練を実施しました。

【訓練】避難所運営訓練、区本部訓練、避難所医療訓練・二次避難所移送訓練、救援物資緊急輸送訓練（受入）、燃料補給訓練
災害ボランティアセンター運営訓練、ライフライン訓練、炊き出し訓練



避難所運営訓練



避難所医療訓練



二次避難所移送訓練



救援物資緊急輸送訓練



東京ガス(株)応急復旧



(株)NTT東日本臨時公衆電話

(ウ) 展示・啓発（市立南菅中学校）

各防災関係機関、協定締結団体等による展示、啓発や一般参加者による初期消火活動や応急救護等の体験型訓練も行いました。

【展示・啓発】市街地火災延焼防止訓練、初期消火訓練、火災避難訓練、応急救護訓練、地震体験、応急給水訓練、消防署・消防団の広報・啓発、災害時のトイレについての広報・啓発、生活環境事業所の広報・啓発、女性目線の防災について、川崎市薬剤師会の広報・啓発、耐震化の広報・啓発、災害時の伝言についての広報・啓発、マイコンメーター復帰操作の広報・啓発、東京電力の防災対策の広報・啓発、ペットの同行避難、地震・気象観測に関する広報・啓発、新聞紙スリッパづくり、子ども向け防災ワークショップ、簡易トイレ袋の広報・啓発、土のう作成チャレンジ、防災コーナー、災害時の食事について、神奈川DWATの広報・啓発、聴覚障害者の広報・啓発、災害時口腔ケア、多言語支援センターの広報・啓発、VR（仮想現実）体験、在宅避難のすすめ、みんなで『フェーズフリー』



女性目線の防災について



ペットの同行避難



聴覚障害者の広報・啓発



災害時口腔ケア



多言語支援センターの広報・啓発



みんなで『フェーズフリー』

令和5年度 川崎市防災訓練の実施結果について

カ 成果及び課題等

(ア) 菅多目的広場における訓練

発災直後の消防ヘリによる情報収集から、各防災関係機関による救出活動や川崎DMATによる救護活動など、市及び防災関係機関、協定締結団体等の連携した動きにより、それぞれの役割分担の確認を行うとともに、公助による各種活動を一連の流れで示すことができました。但し、瓦礫の確保が十分できず、一部訓練を縮小する影響も出たため、今後は、準備段階の確認等を綿密に行う必要があります。

また、広い敷地を使って各防災関係機関等の活動や役割を確認する救出救護訓練等は、場所の確保が課題となっていますが、利用できる場所には限りがあるため、今後とも、敷地の広さに合わせ実施方法を工夫するなどしながら継続して実施していく必要があります。

(イ) 市立南菅中学校における訓練

・避難所運営訓練では、発災から3、4日後の避難所において、市医師会等から派遣された医療チームによる診察や特別に配慮が必要な要支援者の二次避難所への移送訓練、支援物資の受け入れ訓練等を実施しました。課題としては、物資受け入れに係る人手の確保（避難者からの協力）などがありました。

・ライフライン訓練では、各防災機関の復旧または応急対策活動について、展示や実技を実施しました。コロナ禍以降、久々の実施となりましたが、今後も、市民の災害時の安心感に繋げるために、より多くの方に見てもらうことが必要であります。

・啓発・展示では、防災関係機関・企業等の展示・啓発や体験型訓練を実施しました。ブースの中には、災害時の在宅避難に役立つ生活用品や平時でも有事でも役に立つ調理方法を紹介するなど、フェーズフリーをキーワードとした新たな試みも行うなど、自助の促進に向けた取り組みを行いました。

○一般参加者213人からのアンケートでは、「自分の町会の避難所開設訓練の参考になりました。」、「子どもと災害について考える良い機会でした。いろいろと災害対策を知ることができて良かったです。」、「日々、取り入れられるものは取り入れていきたいと思えます。」など、前向きなご意見をいただきました。一方で、「段ボールの間仕切りはきつい。床にビニールもつらいのでは。」や、「段ボール間仕切りの場所取りのルールも整備が必要だと思います。」など避難所生活に関するご意見もいただきました。

また、多摩区からは、今回の訓練を通じて近隣の避難所運営会議が触発され、コロナ禍で停滞していた活動が再開するなどしたとの報告もあり、一定の成果は得られたものと考えていますが、参加者からのご意見や課題等も踏まえ改善していく必要があります。

(ウ) まとめ

今回の訓練では、訓練の練度を高めるため、昨年度と同一のフェーズである大地震発生直後の救出救護訓練と、3、4日経過後の避難所運営訓練を実施し、自助、共助、公助のそれぞれの取組の重要性等を再認識されました。今後も、企画段階から市民や防災関係機関、協定締結団体等と連携し、災害発生時の状況の共通認識を持ちながら訓練するとともに、展示・啓発等を通じ、市民の皆さんの日頃からの備えの促進に向けた取り組みを継続して実施していくことが重要です。

今後につきましても、今回の実施結果や令和6年能登半島地震への職員派遣を通じて得た経験等も踏まえながら、様々な災害フェーズでの訓練内容を検討するなど改善を図りながら、継続して取り組みを進めていきます。合わせて、実施にあたりましては、熱中症対策等も行い、参加者の体調にも配慮しながら進めてまいります。

キ その他（プレイベント）

多摩スポーツセンターにて、「インクルーシブ社会における生活環境の質的向上を目指した新しい避難所プロトタイプ～みらいの避難所プロジェクト～」と題した宿泊イベントを訓練前日から実施しました。本イベントは、NPO法人ボランティア・アーキテクト・ネットワークおよび東北大学、本市との三者協定に基づき行ったもので、発災数週間経過後の避難所生活における避難者への負担を軽減し、避難生活がより快適におくれるための環境づくりをコンセプトに、地元住民の参加により初めて行った取組です。

令和5年度 川崎市防災訓練の実施結果について

(2) 各区の総合防災訓練

各区において、地域住民、企業、防災関係機関等と連携し、それぞれの地域特性等にに応じた区総合防災訓練を実施しました。

	日時・場所	目的	内容	成果及び反省点
川崎区	第1回 【日時】 令和5年10月14日(土) 8時30分～11時00分 【会場】 東門前小学校	川崎市域直下型地震の発生及び津波や大雨、台風に加え、地域、行政、関係機関等が連携を図り、発災後の迅速な初動対応、相互の顔が見える体制づくりのため、実践的な参加型訓練として実施することで、災害に立ち向かう体制の構築や地域防災力の向上を図る。	【訓練】 ①津波避難訓練 ②要援護者避難時の支援者側避難誘導訓練 ③救出・搬送訓練 ④水消火器初期消火訓練 ⑤応急救護訓練(三角巾) ⑥心肺蘇生法訓練(AED) ⑦土のう積み訓練 【啓発】 ⑧津波防災講座 ⑨消防署・団の広報・啓発 ⑩建物耐震対策啓発 ⑪災害時トイレ啓発 ⑫災害時ごみ対策啓発 ⑬災害時口腔ケア ⑭ライフライン防災啓発(NTT・東京ガス・東京電力)	【成果】 津波避難施設に指定している民間施設である島忠ホームズの立体駐車場及び東門前小学校校舎を使用して津波避難訓練を実施したことで、避難ルートの確認及び地域や施設の危険箇所等を事前に把握することができた。また、東北大学教授による防災講座では津波の危険性等の周知を行い参加者からは津波災害に対する意識を高めることができたとの高評価を得た。さらに、区総合防災訓練では、各種体験及び啓発を行ったことで、日頃から備えることの大切さや災害時における行動等についての意識付けができた。 【反省点】 住民自らが判断して安全な行動ができるように、誰もが参加できる訓練をより多く取り入れていく必要がある。 【今後の取組み】 実際に指定されている津波避難施設を使用する訓練は、住民と施設の相互で避難時のイメージが共有でき、効率的・効果的な避難行動につながることを期待できるため、今後も実践的な訓練を継続し、地域住民への啓発を行っていく。
	     <p>②要援護者避難時の支援者側避難誘導訓練</p> <p>③救出・搬送訓練</p> <p>⑥心肺蘇生法訓練(AED)</p> <p>⑦土のう積み訓練</p> <p>⑧津波防災講座</p>	第2回 【日時】 令和6年2月4日(日) 10時00分～11時30分 【会場】 渡田中学校	川崎市域直下型地震の発生及び大雨や台風に加え、地域、行政、関係機関等が連携を図り、発災後の迅速な初動対応、相互の顔が見える体制づくりのため、実践的な参加型訓練として実施することで、災害に立ち向かう体制の構築や地域防災力の向上を図る。	【訓練】 ①避難所開設・運営訓練(炊き出し・ベット同行) ②初期消火訓練 ③心肺蘇生法訓練(AED) ④応急救護訓練(三角巾) ⑤土のう積み訓練 ⑥シェイクアウト訓練 【啓発】 ⑦災害時給水啓発 ⑧災害時トイレ対策啓発 ⑨災害時ごみ対策啓発 ⑩災害時口腔ケア啓発 ⑪災害ボランティア普及啓発
	     <p>①避難所運営訓練(炊き出し)</p> <p>②初期消火訓練</p> <p>④応急救護訓練(三角巾)</p> <p>⑥シェイクアウト訓練</p> <p>⑩災害時口腔ケア啓発</p>			

令和5年度 川崎市防災訓練の実施結果について

		日時・場所	目的	内容	成果及び反省点
幸区	第1回	<p>【日時】 令和5年9月10日(日) 9時00分～11時00分</p> <p>【会場】 河原町グラウンド、体育館</p>	地域の自立型防災力の向上の推進に向け、地域、防災関係機関、職員等の防災意識の高揚と災害対応力の向上を図る。	<p>【訓練】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地域の自主防災組織による要援護者の安否確認、避難誘導訓練 ②消防団による救出訓練 ③水消火器、消火ホースキット取扱い訓練 ④心配蘇生法、応急救護訓練 ⑤はしご車による救出訓練 ⑥組立式トイレ設置訓練 <p>【啓発】</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑦防災かるた ⑧電動車両からの給電 ⑩消防、警察、自衛隊車両の展示 ⑩防災見本市 ⑪3区連携による啓発冊子等の配布 	<p>【成果】</p> <p>区内小学校及び保育施設等にチラシを配布し、子供向けのブースを設けることで、若い世代の参加に繋がった。また、実際の放水訓練や画面を見ながらの119番通報訓練など実践的な訓練を取り入れたことで、地域防災力向上に繋がる災害対応力を強化することができた。</p> <p>【反省点】</p> <p>より多くの参加を促すためSNSの活用など、広報の方法を検討する必要がある。</p> <p>【今後の取組み】</p> <p>幅広い世代への訓練参加を促すため、今後も子供が体験できる訓練を取り入れるとともに、実践的な災害対応に繋がる訓練の企画・実施を継続的に行う。</p>
	 <p>②消防団による救出訓練</p>  <p>③消火ホースキット取扱い訓練</p>  <p>④心配蘇生法訓練</p>  <p>⑦防災かるた</p>  <p>⑧電動車両からの給電</p>				
第2回	<p>【日時】 令和6年2月11日(日) 9時00分～11時00分</p> <p>【会場】 塚越中学校、下平間小学校</p>	能登半島地震の発生を受け、避難所における実践型訓練と啓発型訓練を通じて、地域における災害対応力の向上と防災意識の高揚を図る。	<p>【訓練】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①避難所開設、運営訓練 ②消防団による救出訓練 ③給食訓練 ④応急救護訓練 <p>【啓発】</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑤震災時の災害現場体験 ⑥ペット防災の紹介 ⑦電気自動車からの給電 ⑧移動交番車の展示 ⑨防災ウォークラリー 	<p>【成果】</p> <p>時間経過とともに変化する避難所を再現することで、訓練従事者だけでなく参観者にも自助、共助の重要性が伝えられた。また、非常食を用いた味変調理や試食、能登半島地震の写真を活用したりリアル体験により、災害対応力と防災意識の高揚に繋がった。</p> <p>【反省点】</p> <p>実践型訓練と啓発型訓練の同時開催の中、啓発型訓練に参加した若い世代を、地域が行う避難所運営訓練等の実践型訓練に協力者の想定で取り込み、地域防災力向上に繋げるなどの創意工夫が必要である。また、訓練にご参加いただいた聴覚障害者の方からは「訓練自体が健常者を基準としている」、「筆談ボードをもっと活用してほしい」とのお声をいただいた他、知的かつ身体障害者の方からは、「避難所の様子がわかって良かった」、「避難所での生活は難しい」とのご意見をいただいている。</p> <p>【今後の取組み】</p> <p>実践型訓練と啓発型訓練の割合を変更する他、実施場所、訓練内容、運営方法の検討及び、継続的な訓練の実施。</p>	
 <p>①避難所開設、運営訓練</p>  <p>②消防団による救出訓練</p>  <p>③給食訓練</p>  <p>④応急救護訓練</p>  <p>震災時の現場体験</p>					

令和5年度 川崎市防災訓練の実施結果について

	日時・場所	目的	内容	成果及び反省点
中原区	<p>【日時】 令和5年8月19日(土) 9時00分～11時00分</p> <p>【会場】 住吉中学校</p> <p>第1回</p>	<p>震災時に地域で助け合える仕組みづくりや地域防災力の強化に向けた取組を推進し、実務習熟訓練の重要性や各避難所ごとの課題について、避難所運営会議で周知し、地域住民による避難所開設に関する活動の標準化を図る。</p> <p>また、年2回、地区別に輪番での継続実施を通して、「自助」「共助」の取組や活動を区全体に浸透させることを目指し、誰もが気軽に防災に関する「気づき」につながる機会を創出し、日常から使える防災知識を提供する。</p>	<p>【訓練】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①避難所開設訓練 ②防災資器材使用訓練（仮設トイレ・ポルバ・レーション・ブライベート組立） ③要援護者対応訓練（外国籍避難者、車椅子等） ④ピクトグラムを活用した案内表示 ⑤炊き出し訓練 ⑥防災資器材体験訓練（発電機・ロープ取扱い） ⑦体験型訓練（煙・119番通報・水消火器・簡易担架・応急処置・消火ホース・ガスが復帰操作） ⑧応急給水訓練 <p>【啓発】</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑨参加者が校門・備蓄倉庫・校舎・体育館・校庭の各位置を確認 ⑩震災時間経過をイメージした実体験（事前の備え－発災直後－数時間後－翌日以降） ⑪防災車両展示 ⑫防災資器材展示 ⑬気象庁横浜地方気象台（地震に関する講話） ⑭災害時のごみ問題（分別方法の確認） 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練実施に向けて、避難所運営会議を8回実施して訓練内容を検討し実災害に即した想定で訓練を実施した。初めての参加者は、防災の大切さが良く分かったとの声が多数あった。 ・避難所運営会議メンバーが中心となって、学校施設の説明、災害時の動線確認等を行い、訓練参加者の視点でも活動の確認をした。 ・避難所運営会議メンバーの高齢化が進み、自主的に大規模な訓練ができないと相談を受け、本訓練が実施できた経過を他の避難所運営会議や自主防災組織に周知し、活動の支援を行った。 <p>【反省点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所運営会議で検討し夏の暑さが厳しい中、避難所となる体育館での活動・避難生活を体験するため8月下旬を訓練日に設定したが、猛暑日が続いたため参加者の負担が大きかった。 ・区役所職員以外の職員も多数参加したが、割り振られた任務に集中するあまり、手薄な部分に臨機応変に対応できなかった。 <p><u>区本部・危機管理担当の指示で動くのではなく、その場の状況に合わせて、区民の声をしっかり聞き、迅速に対応できるようにする。</u></p> <p>【今後の取組み】</p> <p>参加型体験で非常に良い経験となったという意見を多くいただいた一方、夏季の暑さが厳しい時間帯に避難所生活をすることは困難なことが分かり、暑さ対策を今後の防災訓練に取り入れる必要があるため、避難所運営会議での検討を実施する。</p>
	 <p>①避難所開設訓練</p>  <p>②防災資器材使用訓練</p>  <p>④ピクトグラムを活用した案内表示</p>  <p>⑫防災資器材の展示</p>  <p>⑭災害時のごみ問題</p>			
<p>【日時】 令和5年11月25日(土) 9時00分～11時00分</p> <p>【会場】 今井中学校</p> <p>第2回</p>	<p>震災時に地域で助け合える仕組みづくりや地域防災力の強化に向けた取組を推進し、第1回総合防災訓練で得られた実務習熟訓練の重要性や各避難所ごとの課題について、避難所運営会議で周知し、地域住民による避難所開設に関する活動の標準化を図る。</p> <p>また、年2回、地区別に輪番での継続実施を通して、「自助」「共助」の取組や活動を区全体に浸透させることを目指し、誰もが気軽に防災に関する「気づき」につながる機会を創出し、日常から使える防災知識を提供する。</p>	<p>【訓練】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①避難所開設訓練 ②防災資器材使用訓練（仮設トイレ・ポルバ・レーション・ブライベート組立） ③要配慮者対応訓練（妊産婦、区内在住外国籍避難者、車椅子等） ④ピクトグラム（案内表示） ⑤炊き出し訓練 ⑥防災資器材体験訓練（発電機・ロープ取扱い） ⑦体験型訓練（煙・119番通報・水消火器・簡易担架・応急処置・消火ホース） ⑧応急給水訓練 <p>【啓発】</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑨参加者が校門・備蓄倉庫・校舎・体育館・校庭の各位置を確認 ⑩震災時間経過をイメージした実体験（事前の備え－発災直後－数時間後－翌日以降） ⑪防災車両展示 ⑫防災資器材展示 ⑬気象庁横浜地方気象台（地震に関する講話） ⑭災害時口腔ケア（健康福祉局） 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に避難所運営訓練参加者の役割を決めず、当日集まった避難所運営会議メンバー及び地域の方が開設から運営までを避難所運営マニュアルに基づき実施し、実災害に即した運営を行った。 ・訓練参加者からは普段話さない方とコミュニケーションが取れたことで積極的な活動につながったとの声があった。 ・また、要配慮者対策の課題確認のため、外国籍避難者の方が避難所を巡回体験し、避難所運営メンバー及び地域の方とコミュニケーションの取り方やお手伝いの方法等を確認し、積極的に対話を行い要配慮者等への理解を深めるとともに、事前課題であった避難所内での情報共有の方法についても確認した。 <p>【反省点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践的な参加者体験型訓練を行ったため、多数の来場者が参加することで盛況になった一方、多数参加した大規模な避難所開設・運営訓練を初めて行い、受付業務で混乱が発生し受付に時間を要した。 <p>【今後の取組み】</p> <p>参加型訓練で良い経験になったという声が寄せられた。また、避難所運営訓練が実施できていない地域に対しては、本訓練の実施方法や取り組み方を説明し実施していく。</p>	
 <p>①避難所開設訓練</p>  <p>③要配慮者対応訓練（外国籍避難者）</p>  <p>③要配慮者対策訓練（妊産婦）</p>  <p>⑬気象庁横浜地方気象台の震災講話</p>  <p>⑭災害時口腔ケア（健康福祉局）</p>				

令和5年度 川崎市防災訓練の実施結果について

		日時・場所	目的	内容	成果及び反省点
高津区	第1回	<p>【日時】 令和5年10月28日(土) 8時50分～10時50分</p> <p>【会場】 東高津小学校</p>	<p>区民一人一人の防災意識の高揚を図るとともに、町内(自治)会と各防災関係機関・団体が互いに連携協力して防災体制の強化を図ることを目的とする。</p>	<p>【訓練】</p> <p>①市民参加型訓練 (情報伝達・避難訓練、放水訓練、煙体験、起震車体験、水防工法訓練、応急救護訓練、仮設トイレ組立訓練、要援護者確認訓練、災害時口腔ケア講座)</p> <p>②避難所開設訓練</p> <p>③救出救護訓練</p> <p>【啓発】</p> <p>④土砂災害・宅地防災、⑤災害用伝言ダイヤル、⑥災害時のトイレ、⑦応急給水、⑧火災予防広報、⑨特殊詐欺対策、⑩災害派遣パネル展示、⑪ガスメーター復旧、⑫災害ボランティア、⑬ローリングストック、⑭感震ブレイカー・ミニ発電機、⑮災害時ペット対策、⑯防災用品展示、⑰風水害展示(マイタイムライン等)</p>	<p>【成果】</p> <p>今年度から人数制限を解除し、一般来場者も参加可としたことで約800人の来場者の参加があった。訓練当日は多くの自主防災組織の方々に御参加いただき、来場者の中には親子連れや外国人の姿もあり、各ブース賑わいをみせていた。また、訓練当日は小学校の生徒が防災授業の一環として参加し、次世代を担う子供の防災啓発に取り組めた。訓練を通じて今後の避難所運営会議に活かすべき課題を把握することができた。</p> <p>【反省点】</p> <p>職員間での無線を配置していたが、来場者数が多かったため、各対応に時間がかかり、情報の伝達が遅れる場面があった。</p> <p>【今後の取組み】</p> <p>総合防災訓練の訓練内容について、各町内会・自治会関係者及び学校関係者、実行委員会と協議を行い、要望などを取り入れて見直ししていく。総合防災訓練での参加者アンケートを実施する。</p>
		 <p>①市民参加型訓練</p>  <p>②避難所開設訓練</p>  <p>③救出救護訓練</p>  <p>防災啓発ブース</p>  <p>⑥災害時のトイレ 東高津小学校生徒参加の様子</p>			
	第2回	<p>【日時】 令和6年3月3日(日) 10時00分～12時00分</p> <p>【会場】 橘小学校</p>	<p>防火・防災意識の啓発・高揚と、災害時における基礎的な技術の習得を目指し、地域住民が参加した実践的な訓練を実施する。</p> <p>また、実際に訓練の参加者が、各町内会・自治会で行う実践的な訓練を実施する一助とし、地域への防災意識の広がりを目指す。</p>	<p>【訓練】</p> <p>①市民参加型訓練 (情報伝達・避難訓練、放水訓練、煙体験、起震車体験、水防工法訓練、応急救護訓練、仮設トイレ組立訓練、要援護者確認訓練、災害時口腔ケア講座、自然災害体験(VR)、炊き出し訓練)</p> <p>②避難所開設訓練</p> <p>③操法訓練、一斉放水訓練</p> <p>【啓発】</p> <p>④災害時のトイレ、⑤応急給水、⑥特殊詐欺対策、⑦災害派遣パネル展示、⑧LPガス復旧、⑨災害ボランティア、⑩感震ブレイカー・ミニ発電機</p>	<p>【成果】</p> <p>1回目の総合防災訓練同様、人数制限を解除し、一般来場者も参加可としたことで2回目も約800人の来場者の参加があった。国土交通省が保有する自然災害体験車の参加調整を前年から行い訓練に参加いただき、多くの市民に体験してもらうことができ好評だった。</p> <p>訓練会場周辺に在住の盲導犬ユーザーに訓練参加を促し、訓練当日に参加してもらうことができ、多くのブースを体験してもらうことができた。</p> <p>【反省点】</p> <p>自然災害体験車や起震車に長蛇の列ができ、順番待ちにかなりの時間を要したので体験方法を改善する必要がある。</p> <p>【今後の取組み】</p> <p>2回目の総合防災訓練では訓練アンケートを実施することができたので、次年度は計画的に実施する。</p>
	 <p>①市民参加型訓練 応急救護訓練</p>  <p>①市民参加型訓練 自然災害体験(VR)</p>  <p>①市民参加型訓練 盲導犬ユーザー参加の様子</p>  <p>②市民参加型訓練 災害時口腔ケア講座</p>  <p>②避難所開設訓練</p>				

令和5年度 川崎市防災訓練の実施結果について

		日時・場所	目的	内容	成果及び反省点
宮前区	第1回	<p>【日時】 令和5年11月26日(日) 9時00分～12時00分</p> <p>【会場】 菅生小学校</p>	川崎市域直下型地震等の地震災害の発生に備え、自助・共助・公助の理念に基づき、市民、自主防災組織、企業、市及び関係行政機関等が迅速な初動活動と災害応急対策を確立するために、市民の防災意識の高揚及び地域防災力の強化を図る。	<p>【訓練】</p> <p>①避難所開設訓練 ②体験型訓練（応急救護、応急給水拠点、初期消火、ロープワーク、倒壊重量物排除、煙体験、地震体験、要配慮者疑似体験、土嚢積み訓練、上階からの負傷者の救出訓練） ③二次避難所移送訓練 ④職員向け無線交信・防災情報システム操作訓練 ⑤避難訓練</p> <p>【啓発】</p> <p>⑥車両展示（宮前消防署、宮前消防団、宮前警察署、道路公園センター） ⑦防災・啓発ブース（東京電力パワーグリッド株式会社川崎支社、宮前区薬剤師会、川崎市男女共同参画センター、まちづくり局防災まちづくり推進課、環境局宮前生活環境事業所、宮前区役所衛生課、防災協力事業所（高橋工務店）、一般社団法人川崎建設業協会・建設業宮前区会、消防局警防部指令課、宮前消防署・宮前消防団、宮前警察署、川崎市看護協会、宮前区歯科医師会、健康福祉局保健医療政策部、宮前区役所高齢・障害課、宮前区役所児童家庭課） ⑧聴覚障害者に対する各種訓練の案内</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々に、発災直後の避難所開設について避難所運営会議で事前に考えてもらい、訓練を重ねたことで、避難所開設の具体的なイメージを持ってもらうとともに、地域の方々、学校職員、区役所職員と避難所開設に関する共通認識を持つことができた。 ・参加者からは「地域の防災意識を高めることができた。」 「新しい知識を得ることができた。」等の意見をいただいた。 <p>【反省点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々に避難所開設についての具体的なイメージを持ってもらうまでに時間を要したため、より分かりやすい情報の提供が必要であった。また、要援護者及び支援者に訓練の参加を促しているものの、疑似体験の実施にとどまっている。 <p>【今後の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所運営訓練の進んでいない地域において、避難所開設訓練から避難所運営訓練に移行していく。
	     <p>①避難所開設訓練 ②体験型訓練（初期消火訓練） ③二次避難所移送訓練 ④車両展示 ⑤防災・啓発ブース</p>				
第2回	<p>【日時】 令和6年2月11日(日) 9時00分～12時00分</p> <p>【会場】 野川中学校</p>	川崎市域直下型地震等の地震災害の発生に備え、自助・共助・公助の理念に基づき、市民、自主防災組織、企業、市及び関係行政機関等が迅速な初動活動と災害応急対策を確立するために、市民の防災意識の高揚及び地域防災力の強化を図る。	<p>【訓練】</p> <p>①避難所開設訓練 ②体験型訓練（応急救護、応急給水拠点、初期消火、放水訓練、ロープワーク、リフティング訓練、煙体験、地震体験、要配慮者疑似体験、土嚢積み訓練、上階からの負傷者の救出訓練、炊き出し訓練） ③職員向け無線交信・防災情報システム操作訓練 ④避難訓練</p> <p>【啓発】</p> <p>⑤車両展示（宮前消防署、宮前消防団、宮前警察署、道路公園センター） ⑥防災・啓発ブース（宮前区薬剤師会、川崎市男女共同参画センター、環境局宮前生活環境事業所、宮前区役所衛生課、防災協力事業所、一般社団法人川崎建設業協会・建設業宮前区会、消防局警防部指令課、宮前消防署・宮前消防団、宮前警察署、川崎市看護協会、下水道局下水管理課、東京ガス株式会社川崎支店） ⑦聴覚障害者に対する各種訓練の案内</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練に向けて、事前に避難所運営会議で避難所開設の知識習得及び反復訓練を実施することで、地域の方々の避難所開設における認識及び意識の向上が図れた。また、訓練を重ねたことで、参加者同士のコミュニティの形成が確認できた。 ・コロナ禍以降実施できていなかった炊き出し訓練が再開できたことで、知識及び手法の伝承と災害時の協力体制を構築することができた。 ・参加者からは、「避難時に対応すべきことが認識できた。」 「多くの人が体験するべき訓練なので継続していきたい。」等の意見をいただいた。 <p>【反省点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々とともに、継続して要援護者及び支援者に訓練の参加を促しているものの、疑似体験の実施にとどまっている。 <p>【今後の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災啓発を継続的にを行い、引き続き各種訓練を実施していくとともに、地域の防災コミュニティが広がっていくように、地域との連携を強化していく。また、実施できていない訓練項目については継続して声掛けを実施する。 	
     <p>①避難所開設訓練 ②体験型訓練（応急救護訓練） ③体験型訓練（炊き出し訓練） ④車両展示 ⑤防災・啓発ブース</p>					

令和5年度 川崎市防災訓練の実施結果について

		日時・場所	目的	内容	成果及び反省点
多摩区	第1回	<p>【日時】 令和5年 9月 3日(日) 9時00分～12時00分</p> <p>【会場】 南菅中学校</p>	<p>過去に日本各地で発生した災害から、地域の連携・協力により助け合う地域のつながりが、災害時に最も重要な「防災力」となっていると考え、その向上のため地域住民相互が訓練を通じて顔の見える関係を築き、防災関係団体の力も得て、地域の防災力を向上させることを目的に訓練を実施。</p>	<p>【訓練】 ①避難所運営訓練 ②区本部訓練 ③避難所医療訓練 ④二次避難所移送訓練 ⑤支援物資緊急輸送訓練 ⑥燃料補給訓練⑦災害ボランティアセンター運営訓練 ⑧ライフライン訓練 ⑨体験型訓練(市街地火災延焼防止訓練、初期消火訓練、火災避難訓練、応急救護訓練、地震体験、応急給水訓練、土のう作製訓練、震災VR体験、子ども向け防災ワークショップ) ⑩炊き出し訓練</p> <p>【啓発】 ⑪消防、消防団の広報・啓発 ⑫災害時のトイレ ⑬生活環境事業所の広報・啓発 ⑭女性目線の防災 ⑮川崎市薬剤師会の広報・啓発 ⑯災害伝言ダイヤル ⑰耐震化の広報・啓発 ⑱マイコンメーターの広報・啓発 ⑲電気の防災対策 ⑳ベットの同行避難 ㉑地震・気象観測の広報・啓発 ㉒新聞紙スリッパづくり ㉓簡易トイレの広報・啓発 ㉔災害時の食事 ㉕神奈川DMATの広報・啓発 ㉖聴覚障害者の広報・啓発 ㉗災害時の口腔ケア ㉘多言語支援センターの広報・啓発 ㉙在宅避難のすすめ ㉚みんなでフェーズフリー</p>	<p>【成果】 訓練を行うにあたり、避難所運営会議において、避難所の初動期から安定期を経て避難所の閉鎖までの役割について、事前説明により理解を深めてもらい、避難所開設から3～4日目に想定される状況に合わせた訓練を避難所運営会議とともに計画した。 訓練当日は、区被災者支援班が避難所運営会議各班の訓練コントローラーを担当し、区と避難所運営会議が協力して訓練内容を計画したことにより、避難所運営会議の各委員が避難所3～4日目のフェーズについて深く理解してもらうことができ、各委員が自信をもって積極的に訓練を行い、ほぼすべての訓練を計画通りに行うことができた。訓練を通じて、避難所運営の長期化に対する具体的なイメージを持ってもらうことができ、一時避難と長期避難運営の違いについての共通認識を持つことができた。 また、総合防災訓練会場周辺の避難所運営会議については、長く続いたコロナ禍の影響により活動が鈍化していたが、市総合防災訓練が開催されたことにより、周辺避難所の刺激となり、活動が再開されるなど波及効果もたらされた。</p> <p>【反省点】 総合防災情報システムを使用した、避難所本部、区本部及び被災者支援班との情報連絡について、通常の避難所運営訓練に加え、避難所医療訓練・二次避難所移送訓練・支援物資緊急輸送訓練・燃料補給訓練などを限られた時間に実施したため、避難所各班への連絡が一部伝達されない状況が発生した。</p> <p>【今後の取組み】 避難所運営会議による訓練は、初動期の開設訓練が主であるため、長期化を想定し、各フェーズに応じた対応への理解を深め、訓練を行っていくことが必要である。</p>
		 <p>①避難所医療訓練</p>  <p>⑩炊き出し訓練</p>  <p>防災啓発</p>  <p>ライフライン復旧訓練</p>  <p>⑳ベットの同行避難</p>			
	第2回	<p>【日時】 令和6年 3月 9日(土) 10時00分～12時00分</p> <p>【会場】 JR登戸駅、多摩区役所</p>	<p>地震発生に伴い公共交通機関の運行停止により、登戸駅を中心に多数の帰宅困難者が発生することが予想されることから、駅舎との情報伝達、帰宅困難者の安全確保、交通渋滞の緩和を目的に帰宅困難者対策訓練を実施。</p>	<p>【訓練】 ①帰宅困難者受入れ対応訓練 ②通信情報伝達訓練 ③防災ワークショップ 【啓発】 ④帰宅困難者対策 ⑤ローリングストック</p>	<p>【成果】 自主防災組織及び防災協力事業所の訓練参加者に対する、帰宅困難者対策への理解を得ることができ、かつ自分が帰宅困難者になった場合の対策を考えてもらう良い機会となった。 また、関係機関と連携した訓練を行うことにより、コロナ禍明けでの連絡体制の確認と、対応能力の向上が図れた。</p> <p>【反省点】 帰宅困難者対策訓練の開催時期が、一部の関係機関の繁忙期と重なってしまい、参加できない事業所が一部あった。</p> <p>【今後の取組み】 開催時期について、余裕を持った計画準備期間を設け、より多くの関係機関に参加をしていただき、連携を強化していく。</p>
		 <p>①帰宅困難者受入れ対応訓練</p>  <p>車いす対応</p>  <p>③防災ワークショップ</p>  <p>④帰宅困難者対策</p>			

令和5年度 川崎市防災訓練の実施結果について

		日時・場所	目的	内容	成果及び反省点
第1回		<p>【日時】 令和5年10月28日(土) 9時30分～12時00分</p> <p>【会場】 川崎市麻生水処理センター あさおふれあいの広場 緑の広場 あさおふれあいの丘</p>	<p>「自らの生命は自ら守る。地域のことは地域で守る」という防災の基本に即し、実践型訓練を通して、自主防災組織の共助の促進と防災対応力の強化を図る。</p> <p>自主防災組織が保有している資器材の取扱いや備蓄倉庫に保管されている備蓄品を使用した実践演習等を通して自主防災組織の災害活動能力の向上を図る。</p> <p>小中学生とその家族を対象とした区民防災塾を同時開催し「楽しく学ぶ」をコンセプトに体験ワークを通して自助の意識の醸成を図る。</p>	<p>【実践型訓練】(自主防災組織会員) []は指導団体</p> <p>①展示訓練～自主防災組織による模範的な消火・救出訓練の展示</p> <p>②資器材実践演習～チェーンソー、ロープワーク[麻生消防署]</p> <p>③救出訓練～重量物排除[麻生警察署・県警第二機動隊]</p> <p>④初期消火訓練[麻生消防署・麻生消防団]</p> <p>⑤仮設トイレ組立訓練[環境局多摩生活環境事業所]</p> <p>⑥応急救命訓練～AED、心肺蘇生法[麻生消防署]</p> <p>※②～⑥の訓練種目は、自主防災協議会全体会で希望を募ったものを用意</p> <p>【区民防災塾】(小中学生とその家族)</p> <p>GENSAI迷路(迷路で防災クイズ)、倒壊家屋からの救出訓練、ロープワーク体験、応急救命訓練(AED、止血法)、ペットボトル工作、防災グッズ出張カー展示</p> <p>【参加型体験訓練】(一般市民)</p> <p>地震体験、煙体験、初期消火訓練</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織31団体に加え、親子で参加できる区民防災塾、一般市民が自由に参加できる体験訓練を同時開催することで、日頃、自主防災組織など地域活動に関わりが少ない方などに参加機会を提供することができた。(来場者及び参加者数約450人) ・新たに実施した展示訓練は、自主防災組織構成員による模範的訓練を展示し高評価であった。 ・実践型訓練は、参加した自主防災組織からのアンケートの結果、専門家の指導の下、「実用的な技術・知識の習得できた」との感想が多く寄せられた。 <p>また、倒壊家屋からの救出訓練は、県警機動隊員の指導により、実践的かつ専門的な知識を得ることができたとの声が聞かれた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民防災塾や体験訓練に参加した一般市民の参加者及び来場者が、自主防災組織の訓練の様子を間近で見学することで、自主防災組織の周知や共助の重要性の啓発につながった。 <p>【反省・今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練の参加団体が、特定の自主防災組織に偏る傾向があるため、幅広い組織が参加しやすい訓練企画や、周知の改善に向けた検討が必要である。 ・実践演習は、参加者アンケートで91%が「良い」以上との回答があり、訓練の課題等を踏まえた上で、自主防災組織の育成と防災体制の充実に向け、引き続き実施していく。
			<p>①展示訓練(救出訓練)</p> <p>②資器材実践演習(ロープワーク)</p> <p>③救出訓練(重量物排除)</p> <p>区民防災塾(GENSAI迷路)</p> <p>区民防災塾(救出訓練)</p> <p>地震体験</p>		
麻生区	第2回	<p>【日時】 令和5年12月2日(土) 9時00分～12時00分</p> <p>【メイン会場】 新百合ヶ丘駅南口ペデストリアンデッキ</p> <p>【サテライト会場】 麻生区役所前広場 麻生市民館</p>	<p>・多くの方に防災を意識してもらえる訓練</p> <p>・誰もが参加しやすい環境</p> <p>・より実践に即した訓練</p> <p>・新百合ヶ丘駅を中心として、自主防災組織、一般市民、学生、各防災関係団体、各行政機関、駅周辺企業、防災協力事業所、防災関連企業等が一同に参加し連携する防災訓練</p> <p>こうした訓練の場を設けることで、多くの方に、自助・共助・公助の役割を理解し、災害に備えることの重要性を認識してもらい地域防災力の向上を目指す。</p>	<p>【メイン会場】</p> <p>①大型商業施設避難訓練(イオンスタイル、エルミロード、オーバ)～新百合ヶ丘駅周辺の大型商業施設と連携した一斉シェイクアウト訓練、避難訓練を実施。避難者の帰宅抑制訓練も実施</p> <p>②帰宅困難者対策訓練～一時滞在施設(4施設)との同時無線交信訓練を実施し、駅前の滞留者を小田急新百合ヶ丘駅員と麻生警察署員が連携し、一時滞在施設である麻生市民館、新百合トウェンティワンホールへの誘導訓練を実施(一般市民を事前公募)</p> <p>③防災啓発ブース展示～麻生消防団の指導による水消火器を使用した初期消火訓練など、行政機関、団体、企業などによる啓発や体験ブースを32か所設置</p> <p>【サテライト会場】</p> <p>④帰宅困難者受入訓練～新百合ヶ丘駅から移動した帰宅困難者の受入訓練の実施</p> <p>⑤救出訓練～麻生消防署と陸上自衛隊が連携した火災救助訓練の実施</p> <p>⑥地震体験～地震体験車による地震体験</p> <p>⑦炊出し訓練～陸上自衛隊が調理、自主防災組織が配給とする役割分担で、カレー500食を来場者に提供</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人通りの多い駅前で実施したことで、日頃、防災に関心が低い方などにも参加機会を提供することができた。(来場者及び参加者数約8,800人) ・帰宅困難者対策訓練は、初の試みとして事前公募した帰宅困難者役の市民など約160人や、聴覚障害者の参加を得て、一時滞在施設までのルートなどは駅員、警察による説明及び滞在施設への案内板のみとするリアルな想定に前年から変更して実施した。帰宅困難者は滞在施設まで自ら選択したルートにて到着することができ、施設においても受付の手順等の確認ができた。 ・駅から麻生市民館への移動ルートとなる新百合ヶ丘駅北口交差点に、川崎市地域防災計画に基づく措置として、新たに麻生警察署交通課職員を誘導員として配置することで、より実践に即した訓練内容とし、帰宅困難者を安全に誘導することができた。 ・大型商業施設避難訓練では、駅周辺の3つの商業施設が参加し、地震発生から、一斉シェイクアウト、避難訓練と一連の訓練を実施したことに加え、うち2施設では避難者を施設内に留めおく帰宅抑制訓練も新たに実施した。 ・聴覚障害者協会会員の帰宅困難者対策訓練の参加や、県立麻生支援学校や麻生区聴覚障害者協会によるブース展示などがあり、多様な主体との連携による防災訓練・啓発を展開した。 ・炊出し訓練は、陸上自衛隊と自主防災組織が協働で実施し、避難所を想定した災害時に近い状況の下、協力を確認することができた。 ・参加40団体が一堂に連携し、相互の役割の確認や関係性を構築することができた。 <p>【反省・今後の取組】</p> <p>帰宅困難者対策訓練では、参加者のアンケートから「一時滞在施設への移動開始までの待機中寒かった」、「どういう状況なのかわからない」という感想を多くいただき、災害時における帰宅困難者への対応や情報提供のあり方などが課題として明らかになったことから、これらの課題等を踏まえた対策について、関係事業者の意見も踏まえながら検討を行い、よりリアリティのある訓練を実施していく。</p>
			<p>①大型商業施設避難訓練</p> <p>②帰宅困難者対策訓練(駅周辺)</p> <p>②帰宅困難者対策訓練(交差点)</p> <p>③防災啓発ブース</p> <p>⑤救出訓練</p> <p>⑦炊出し訓練</p>		

令和5年度 川崎市防災訓練の実施結果について

(3) その他の訓練

市（危機管理本部）において、防災計画・マニュアル等に基づいた全庁的な訓練を主体的に実施し、防災関係機関を含めて、相互に連携した訓練を実施しました。

ア 市の訓練

(ア) 令和5年度災害対策本部初動訓練（参集訓練）令和5年5月10日（水）

川崎市を震源とする最大震度6強が発生し、事前に日時の予告なく、メールにて災害対策本部員に緊急参集を通知しました。

災害対策本部事務局員等に対しては、ブラインド方式により総合防災情報システムを使用した状況付与のもと、初動体制の確認を行いました。また、災害対策本部員に対し、トップマネジメント研修として、地震発生初動期のオペレーションについて、危機管理監より説明を行いました。

《成果・課題等》

本部事務局員・調整員を中心に、初動体制の意識の醸成に一定の成果を上げました。また、総合防災情報システムを活用した情報のやり取りに関しては、システムの扱い方の意見が多くあり、今後とも多くの訓練で活用することが必要です。

(イ) 国の緊急地震速報訓練に伴う職員安否確認訓練 令和5年6月15日（木）

消防庁及び気象庁による、全国瞬時警報システム（Jアラート）端末を活用した年2回の全国的な緊急地震速報訓練に合わせて、すぐ参集メールシステムによる全職員を対象とした安否確認訓練を実施しました。

《成果・課題等》

多くの職員を対象とする把握手段としては、メールシステムの有効性を確認できました。また、メールシステムの登録者数の増加など、一定の成果がありました。一方、業務中の回答が困難なケースもみられ、実災害時においても即座に回答できない状況が想定されます。今後も、定期的な実施により、登録率や回答率の向上を図っていくことが必要です。

(ウ) 災害対策本部レイアウト確認参集 令和5年10月30日（月）

災害対策本部等の本庁舎移転に伴い、移転後速やかに災害対策本部体制が確保できるように、災害対策本部員、本部事務局員（リエゾンを含む）を対象に、事前にレイアウトの確認等を行いました。本部員には、配席の確認や以前の本部室との違いの説明を、本部事務局員には、事務局の立ち上げ方法や班別の活動内容の確認を行いました。

《成果・課題等》

本部室・本部事務局室ともに、施設や設備の事前確認や新たな運用方法等を確認してもらうことにより、災害時の本部体制の円滑な移行ができました。今後は、災害対策本部や本部事務局の運営訓練を重ねて行うことで防災力強化に繋げていくことが必要です。

(エ) 第12回九都県市合同防災訓練・図上訓練 令和6年1月18日（木）※中止

大規模地震によって甚大な被害が発生したことを想定し、発災48時間後における市災害対策本部事務局及び市災害対策本部の運営を実施する。また、「九都県市災害時相互応援に関する協定」に基づき、九都県市（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、川崎市、横浜市、千葉市、さいたま市、相模原市）相互の連携及び九都県市域外の組織との連携を図ることを目的に、訓練の企画や事前説明会等を実施しましたが、令和6年能登半島地震の発生に伴う被災地支援を行う必要があったため、中止としました。

《成果・課題等》

訓練は中止になりましたが、全庁及び防災関係機関への説明会や事前検討等を通じ、災害時のそれぞれの対応方法や役割等の再確認を行いました。

令和5年度 川崎市防災訓練の実施結果について

イ 各部・区本部における訓練

地域防災計画・業務継続計画等に定める各部・区本部の分掌事務に基づき、それぞれの細部計画、マニュアル等の検証・見直しを図るとともに、職員の災害対応能力の向上、意識の高揚を図るため、各部・区本部ごとにそれぞれ独自の訓練を計画し実施する。

部局名	訓練名	主な参加者	実施日	参加人数
総務企画局	総務企画部情報伝達訓練	総務企画局	令和5年5月10日	11
総務企画局	総務企画部勤務時間外安否確認訓練	総務企画局	令和6年8月4日	485
総務企画局	総務企画部運営訓練	総務企画局	令和5年12月8日	42
財政局	防災行政無線電話使用訓練	財政局	令和6年1月30日	10
市民文化局	令和5年度 市民文化局 職員向けメール配信システム訓練	市民文化局	令和6年2月15日	160
経済労働局	令和5年度 経済労働局防災訓練 情報伝達訓練	経済労働局	令和5年4月21日	192
環境局	バンカー火災訓練回転破砕機・剪断破砕機火災訓練	浮島処理センター 委託業者（粗大ごみ処理施設関係者）	令和5年5月31日	38
健康福祉局	局内全職員安否等確認訓練（第1回～第4回）	健康福祉局	第1回：令和5年6月15日 第2回：令和5年9月28日 第3回：令和5年12月26日 第4回：令和6年3月予定	第1回：680 第2回：670 第3回：670 第4回：-
健康福祉局	災害時高齢者・障害者施設等情報共有システム等を使用した情報伝達訓練（第1回・第2回）	川崎市社会福祉協議会老人福祉施設協議会、 川崎市老人福祉施設事業協会、川崎市介護老人保健福祉連 絡協議会、川崎市障害福祉施設事業協会	第1回：令和5年7月27日 第2回：令和5年11月22日	第1回：140 第2回：250
健康福祉局	災害福祉調整本部訓練	健康福祉局	第1回：令和5年9月28日	第1回：60
健康福祉局	保健医療調整本部訓練（医療対応）	健康福祉局	令和5年5月30日	66
健康福祉局	保健医療調整本部安否・参集状況確認訓練（第1回～第4回）	健康福祉局	第1回：令和5年6月15日 第2回：令和5年9月28日 第3回：令和5年12月26日 第4回：令和6年3月予定	第1回：86 第2回：86 第3回：86 第4回：-
健康福祉局	災害時病院連携訓練（北部医療圏）	健康福祉局、市内病院（北部医療圏）	令和5年11月19日	294
健康福祉局	災害時病院連携訓練（南部医療圏）	健康福祉局、市内病院（南部医療圏）	令和5年12月10日	380
健康福祉局	動物救援本部立ち上げ訓練	健康福祉局、動物愛護センター、 公益社団法人川崎市獣医師会	令和6年2月22日	48

※本資料に記載している訓練は、各局本部（室）区が主催した訓練又は共催として参加した訓練としております。

令和5年度 川崎市防災訓練の実施結果について

部局名	訓練名	主な参加者	実施日	参加人数
健康福祉局	中部リハビリテーションセンター避難訓練（第1回・第2回）	中部リハビリテーションセンター	第1回：令和5年10月20日 第2回：令和6年2月13日	第1回：59 第2回：63
こども未来局	職員向けメール配信システムの情報伝達訓練（第1回・第2回）	こども未来局	第1回：令和5年6月11日 第2回：令和5年9月10日	第1回：976 第2回：967
こども未来局	児童福祉施設等災害時情報共有システムを使った情報伝達訓練	こども未来局	令和6年1月25日	673
まちづくり局	まちづくり部庶務班震災対応訓練	まちづくり局	令和5年12月26日	5
まちづくり局	応急危険度判定実施マニュアル シミュレーション訓練	まちづくり局	令和5年12月14日	12
まちづくり局	令和5年度建築物応急危険度判定実施本部訓練（全3回）	まちづくり局	第1回：令和5年12月4日 第2回：令和5年12月5日 第3回：令和5年12月8日	21
まちづくり局	初動対応訓練	まちづくり局	令和5年12月7日	5
建設緑政局	建設緑政事業風水害図上シミュレーション訓練	建設緑政局	令和5年9月5日	15
臨海部国際戦略本部	臨海部国際戦略本部図上訓練	臨海部国際戦略本部、 川崎生命科学・環境研究センター 防災センター	令和6年3月14日予定	-
危機管理本部	令和5年度災害対策本部初動対応訓練	各局（本部）室区の災害対策本部要員	令和5年5月10日	300
危機管理本部	令和5年度 地下街等との情報伝達訓練	川崎アゼリア等地下街施設、危機管理本部	令和5年5月31日	16
危機管理本部	令和5年度 川崎市総合防災訓練（第44回 九都県市合同防災訓練）	避難所運営会議、一般市民、関係機関、団体、市職員	令和5年9月3日	900
危機管理本部	津波避難訓練	東門前小学校避難所運営会議、周辺住民、 川崎区役所、危機管理本部	令和5年10月14日	165
危機管理本部	令和5年度川崎臨海部広域防災訓練（図上訓練）	危機管理本部、臨海部国際戦略本部、消防局 川崎臨海部防災協議会、海上保安庁	令和6年3月15日予定	-
危機管理本部	令和5年度川崎駅周辺帰宅困難者対策訓練	JR川崎駅、京急川崎駅、 川崎駅周辺帰宅困難者一時滞在施設、 危機管理本部、川崎区役所、幸区役所	令和6年2月14日	36
危機管理本部	令和5年度国民保護訓練	各局危機管理担当	令和6年3月21日予定	-

※本資料に記載している訓練は、各局本部（室）区が主催した訓練又は共催として参加した訓練としております。

令和5年度 川崎市防災訓練の実施結果について

部局名	訓練名	主な参加者	実施日	参加人数
会計室	令和5年度会計室防災訓練（会計部想定訓練）	会計室	令和5年12月22日、25日の2日間に分けて実施	25
川崎区役所	令和5年度第1回川崎区総合防災訓練（津波避難訓練同時開催）	川崎区自主防災組織連絡協議会 各関連機関・団体、川崎区役所	令和5年10月14日	380
川崎区役所	令和5年度川崎区役所保健衛生・福祉班訓練	川崎区役所	令和5年11月11日	61
川崎区役所	令和5年度川崎区災害対策本部開設訓練	川崎区災害対策本部要員等	令和5年8月22日	42
川崎区役所	令和5年度避難所開設・運営訓練	各避難所運営会議、各避難所運営要員	令和5年6月～令和6年2月	-
川崎区役所	令和5年度第2回川崎区総合防災訓練	川崎区自主防災組織連絡協議会、 各関連機関・団体、川崎区役所	令和6年2月4日	331
幸区役所	令和5年度水防訓練	幸消防署・幸消防団・幸区役所道路公園センター	令和5年6月15日	16
幸区役所	風水害時における避難所開設、図上訓練（全2回）	幸区役所	第1回：令和5年8月1日 第2回：令和5年8月9日	26
幸区役所	令和5年度第1回幸区総合防災訓練	幸区自主防災組織連絡協議会、 各関連機関・団体、幸区役所	令和5年9月10日	700
幸区役所	令和5年度避難所開設・運営訓練	各避難所運営会議、各避難所運営要員	令和5年9月～令和6年2月	650
幸区役所	令和5年度新川崎・鹿島田駅周辺帰宅困難者対策訓練	交通事業者・企業・帰宅困難者一時滞在施設 警察・その他行政機関	令和5年10月13日	16
幸区役所	令和5年度幸区災害時保健医療活動訓練	幸区役所	令和5年11月26日	57
幸区役所	令和5年度第2回幸区総合防災訓練	幸区各自主防災組織、下平間小学校各避難所運営会議 各関連機関・団体、幸区役所	令和6年2月11日	650
中原区役所	令和5年度中原区本部開設・運営訓練	中原区役所	令和5年5月10日	15
中原区役所	令和5年度水防訓練	中原消防署、中原消防団、中原区役所	令和5年6月24日	30
中原区役所	令和5年度第1回中原区総合防災訓練	中原区役所、中原区自主防災組織連絡協議会	令和5年8月19日	250
中原区役所	令和5年度現地調整所設置訓練	中原区役所、中原消防署	令和5年10月4日	30

※本資料に記載している訓練は、各局本部（室）区が主催した訓練又は共催として参加した訓練としております。

令和5年度 川崎市防災訓練の実施結果について

部局名	訓練名	主な参加者	実施日	参加人数
中原区役所	令和5年度第2回中原区総合防災訓練	中原区役所、中原区自主防災組織連絡協議会	令和5年11月25日	300
中原区役所	令和5年度中原区職員安否確認訓練	中原区役所	令和6年1月18日	327
中原区役所	令和5年度武蔵小杉駅周辺帰宅困難者対策訓練	中原区危機管理担当、鉄道事業者 帰宅困難者一時滞在施設職員	令和6年2月13日	30
高津区役所	令和5年度高津区災害対策本部訓練	高津区役所	令和5年5月19日	40
高津区役所	令和5年度高津区風水害避難所一斉開設訓練	高津区役所、区内各市立小学校（避難所）	令和5年7月31日	40
高津区役所	令和5年度高津区災害対策本部訓練	高津区役所	令和5年10月16日	50
高津区役所	令和5年度高津地区防災訓練	高津地区自主防災組織連絡協議会 各関連機関・団体、高津区役所	令和5年10月28日	750
高津区役所	高津区帰宅困難者対策訓練	高津区危機管理担当、鉄道事業者 帰宅困難者一時滞在施設職員	令和5年11月8日	30
高津区役所	令和5年度橘地区自主防火防災訓練	橘地区連合自治会、高津区役所	令和6年3月3日	800
宮前区役所	区本部設置訓練	宮前区役所	令和5年5月17日	18
宮前区役所	第1回宮前区総合防災訓練	宮前区役所、宮前区自主防災組織連絡協議会、 菅生小学校避難所運営会議	令和5年11月26日	350
宮前区役所	宮前区災害時保健医療福祉活動訓練	宮前区役所	令和6年1月28日	54
宮前区役所	第2回宮前区総合防災訓練	宮前区役所、宮前区自主防災組織連絡協議会、 野川中学校避難所運営会議、西野川小学校避難所運営会議	令和6年2月11日	550
宮前区役所	区役所と帰宅困難者対策用簡易無線機設置施設との通信訓練	宮前区役所 宮前区帰宅困難者対策用簡易無線機設置施設	令和5年12月20日～ 令和6年2月2日	20
多摩区役所	令和5年度第1回多摩区総合防災訓練（川崎市総合防災訓練）	避難所運営会議、一般市民、 関係機関、団体、市職員	令和5年9月3日	900
多摩区役所	令和5年度水防訓練	多摩消防署、多摩区道路公園センター	令和5年6月16日	100

※本資料に記載している訓練は、各局本部（室）区が主催した訓練又は共催として参加した訓練としております。

令和5年度 川崎市防災訓練の実施結果について

部局名	訓練名	主な参加者	実施日	参加人数
多摩区役所	令和5年度テロ災害対応合同訓練	多摩消防署、多摩消防団、消防航空隊、多摩区役所	令和6年2月19日	97
多摩区役所	令和5年度第2回多摩区総合防災訓練	多摩区役所、多摩区自主防災組織、防災協力事業所ほか	令和6年3月9日	75
麻生区役所	区本部立上げ訓練（地震対応想定）	麻生区役所	令和5年5月9日	26
麻生区役所	区本部運営訓練（全2回）	麻生区役所	第1回：令和5年8月1日 第2回：令和5年9月5日	第1回：45人 第2回：70人
麻生区役所	令和5年度第1回麻生区総合防災訓練	麻生区役所、麻生区自主防災組織連絡協議会	令和5年10月28日	525
麻生区役所	令和5年度区民防災塾	麻生区役所、一般市民	令和5年10月28日	217
麻生区役所	令和5年度麻生区災害対策連絡協議会 麻生区保健衛生・福祉班訓練	麻生区役所	令和5年10月31日	50
麻生区役所	避難所開設（ベット受入れ訓練）	麻生区役所、麻生区自主防災組織連絡協議会	令和5年11月26日	48
麻生区役所	令和5年度第2回麻生区総合防災訓練	麻生区民、麻生区自主防災連絡協議会、麻生区企業、麻生区役所、各行政機関、麻生消防署・消防団、麻生警察署、自衛隊	令和5年12月2日	8800
上下水道局	等々力緑地浸水対策 簡易情報連絡訓練	中原区役所、建設緑政局、市民文化局、上下水道局	令和5年4月6日	14
上下水道局	令和5年度 等々力緑地浸水対策図上訓練	中原区役所、建設緑政局、市民文化局、上下水道局	令和5年5月16日	21
上下水道局	令和5年度 等々力緑地浸水対策実地訓練	中原区役所、建設緑政局、市民文化局、上下水道局	令和4年6月6日	58
上下水道局	排水ポンプ車訓練	上下水道局、各事務所下水道管内管きょ緊急工事受注者	令和5年度予定	-
上下水道局	東京・川崎登戸連絡管水相互融通訓練	上下水道局、東京都水道局	令和5年10月26日	22
上下水道局	東京・川崎町田連絡管水相互融通訓練	上下水道局、東京都水道局	令和5年11月9日	25
上下水道局	札幌市・川崎市合同防災訓練	上下水道局、札幌市水道局	令和5年8月8日～8月10日	8

※本資料に記載している訓練は、各局本部（室）区が主催した訓練又は共催として参加した訓練としております。

令和5年度 川崎市防災訓練の実施結果について

部局名	訓練名	主な参加者	実施日	参加人数
上下水道局	静岡市・川崎市合同防災訓練	上下水道局、静岡市上下水道局	令和5年10月30日～ 11月2日	57
上下水道局	医療機関等合同防災訓練（全2回）	第1回：井田病院、健康福祉局、上下水道局 第2回：多摩病院、健康福祉局、上下水道局	第1回：令和5年11月8日 第2回：令和5年11月20日	37
上下水道局	応急給水活動訓練	上下水道局	令和5年5月24日	60
上下水道局	上下水道局危機管理訓練（情報連絡訓練）	上下水道局	令和5年8月9日	34
上下水道局	上下水道局相互応援訓練 （排水ポンプ車による排水活動訓練）	上下水道局	令和5年8月30日	36
上下水道局	上下水道局相互応援訓練 （排水樋管周辺パトロール活動訓練）	上下水道局	令和5年12月15日	15
上下水道局	上下水道局相互応援訓練 （メールニュースかわさき班対応訓練）	上下水道局	令和6年2月27日	15
病院局	令和5年度 病院局本庁部門災害対策訓練	病院局	令和5年12月10日	11
病院局	令和5年度 病院局本庁部門緊急時連絡訓練	病院局	令和5年12月10日	49
病院局	川崎市立3病院ヘリコプター搬送訓練	市立3病院、消防局	令和5年12月10日	31
病院局	令和5年度関東ブロックDMAT訓練（令和5年度川崎市立井田病院災害医療訓練）	市立井田病院	令和5年11月25日～ 11月26日	88
消防局	令和5年度東京湾消防相互応援協定に基づく合同消防訓練	市川市消防局、ENEOS株式会社市川油槽所、消防局	令和5年10月25日	130
消防局	緊急消防援助隊部隊集結訓練及び第二ブロック後方支援活動訓練	神奈川県くらし安全防災局、消防局	令和5年11月21日	30
教育委員会事務局	令和5年度日本民家園災害訓練（全4回）	教育委員会事務局、指定管理者	第1回：令和5年10月6日 第2回：令和6年1月30日 第3回：令和6年2月21日 第4回：令和6年2月29日	第1回：15 第2回：60 第3回：15 第4回：15
選挙管理委員会事務局	防災訓練 情報伝達訓練	選挙管理委員会事務局	令和6年2月13日	13
議会局	安否確認メール訓練（全2回）	市議会議員、議会局	第1回：令和5年9月1日 第2回：令和6年3月11日	第1回：99 第2回：100
議会局	令和5年度川崎市議会避難訓練	市議会議員、議会局	令和6年2月16日	82

※本資料に記載している訓練は、各局本部（室）区が主催した訓練又は共催として参加した訓練としております。